
リハビリテーション天草病院だより

2025年 4月

No. 114



発行 埼玉県越谷市平方343-1 / (医) 敬愛会広報委員会

歯周病が全身に及ぼす影響について

歯科部長 天草 大輔

近年、口腔と全身の関わりが様々な研究から明らかになってきました。その例として「口腔衛生と誤嚥性肺炎の関係」、「歯周病と糖尿病の関係」、「咬合と低栄養の関係」、「顎骨壊死と骨粗鬆症の関係」、「顎関節症と頭痛の関係」などがあります。

上記の経緯から、医科と歯科が連携し互いに並行して治療を実施、情報共有することで、より質の高い医療を提供することが推進されています。この連携を医科歯科連携といえます。その中で、特にエビデンスレベルの高い、歯周病が全身に及ぼす影響について以下に説明します。

【歯周病とは？】

$$90\% \text{ PI} = \text{age} \times \text{OHI}$$

歯周病が進行(PI)する原因の90%は、年齢(age)と口腔衛生状態(OHI)に依存します。年齢は自分の努力ではどうにもなりません。口腔衛生状態は自分の努力により変わります。すなわち歯周病の進行は口腔衛生次第である、との結果がScherpらによって判明しました。

口腔衛生とは歯垢や歯石を除去することで、歯垢は細菌叢(バイオフィルム)です。歯面に細菌が付着し、その状態を放置し続けると、約48時間後に偏性嫌気性グラム陰性菌の一種である歯周病原菌が現れます。その後、顎骨の吸収や歯肉の炎症に関与する内毒素(LPS)が発生し、歯周病が進行します。

【歯周病と全身の関わり】

内毒素は歯周病を進行させるだけでなく、

腫れた歯肉から容易に血管内に侵入し全身に回り、様々な疾患を引き起こしたり、悪化させる原因となることが研究から判明しています。「歯周病が動脈硬化疾患のリスクを上昇させる研究」、「歯周病が早産・低体重児出産を増加させる研究」、「歯周病が誤嚥性肺炎のリスクを上昇させる研究」、「歯周病が糖尿病を悪化させる研究」、「歯周病が脳梗塞発症のリスクを上昇させる研究」など、歯周病が全身に及ぼす研究は多く存在します。特に歯周病と糖尿病の間には双方向の関連性があり、糖尿病が歯周病の進行を促進し、一方で歯周病が糖尿病に負の影響を及ぼすことは広く知れ渡っています。

【歯周病治療とは？】

では、日々の歯磨きのみで歯周病の進行を抑制できるか？答えはNoです。軽度な歯周病ならば、歯みがきのみで抑制できますが、中等度以上に進行した歯周病には「深い歯周ポケット」が存在します。嫌気性菌である歯周病原菌の性質上、空気のない「深い歯周ポケット」の奥(歯肉縁下)に多くの歯周病原菌が存在します。それらは歯磨きでの除去は困難であり、歯科医師、歯科衛生士による機械を使用した除去が必要になります。そして最も重要なことは、改善した状態を維持するための定期検診です。

リハビリ目的での入院中に、併せて当院歯科部で歯周病を含め歯科治療を実施、退院後は継続して定期検診を行う利点は大いにあるはずです。

リハビリテーション栄養とは？

栄養部 管理栄養士 宮崎 正範

【管理栄養士の役割】

栄養士は、食事を通して健康の維持・増進を図り病気を未然に防ぐ事を目的として、学校給食や社員食堂・病院・介護施設・保健所などの場所で活動しています。

その中で管理栄養士は疾患のある方の栄養管理をする事を目的として、主に病院や介護施設で活動しています。

当院の患者さんは、全員リハビリテーションを目的として入院しています。当院の管理栄養士は、これに特化した栄養管理を行っています。

【リハビリテーション栄養について】

運動をするとエネルギーを消費し、その分のエネルギーを摂取しないと体重が減少して栄養状態が悪化します。リハビリも運動によりエネルギーを消費し同様の事が起こります。栄養状態が悪いままりハビリを行うと必要以上に体重が減少し、同時に筋力・体力などの身体能力またADL(日常生活機能)が低下します。そのためリハビリ効率を最大限にしてADLを向上させるには、同時に栄養管理を行う必要があります。

必要な栄養量は個人ごとに年齢・性別・身長・体重・筋肉量・活動量・リハビリ内容・疾患など様々な要素を考慮して決定しています。

患者さんの栄養管理をする上で私たちが最も気にかけていることは食事の摂取量です。食事が食べられなければ当然やせてしまいます。中にはやせる事を目標にする場合もあり

ますが、単純な体重減少はほとんどの場合ADLの低下に繋がります。認知症・うつ・覚醒不良・摂食機能障害・嗜好など様々な理由から食べられない状態の患者さんが居ます。そういった場合どの様な事が原因かを素早く判断し解決できるように、医師・歯科医師・看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士が協力しチームでアプローチしています。

食事を口から食べるのに問題がない場合は普通の食事を提供します。咀嚼や嚥下が難しい場合には柔らかく加工したものや、ペースト状・ゼリー状などに食事形態を調整したものを、口からの食事摂取が難しい場合には、鼻腔または胃瘻から栄養剤を投与といった手段を選択します。

病院の食事が好みではなく患者さんの食事がなかなか進まない事もあります。これについて、私たちの大きな課題と考えています。

当院では食事提供時に、病棟毎に温冷配膳車を用意し、温かい物は温かく冷たい物は冷たく提供できるように配膳しています。また、月毎にテーマを決め、季節感を出して楽しんでいただける様に行事食を実施しています。

【さいごに】

自宅から病院、退院後と食環境も大きく異なると思います。食材の選び方や嚥下食の作り方など、退院後に向けての食事指導も行っています。不安な事がありましたら管理栄養士・院内スタッフにお声がけください。

「何もかも初めての体験」

春日部市 中島 毅

今回は私の82年の人生で全てが初めての出来事で、詳細が分かってくると全てが幸運で、皆様の献身的な努力によって助けられたことが分かりました。発見に至る経緯は、ケアマネさんからの電話が前日に通じず、私の長男、次男と連絡し、駆け付けた時には意識不明、即救急車で大学病院へ救急搬送されて各種検査の結果、肺は真っ白で肺炎と分かり、感染して17年間も大人しくしてきた間質性肺炎がコロナ由来の肺炎とウイルス性肺炎の三種類で大暴れ、私はこの世とあの世の間で10日余り行ったり来たりが続き、何となく情緒不安定な日が3日程続きましたが、その後少しずつ元気になってきました。

病状は熱も咳もなく食後や身体を捻った時に胸に痛みを感じる程度で個室から4人部屋に移ることになりました。肺炎の他に褥瘡という厄介者までついてきたが、順調な回復が続いていました。とある日のこと、トイレ介助を若い看護師にしてもらった時「汚れ物を始末するのは看護師の仕事だから謝らないでください」と言い、少しして「看護師が嬉しいのは、有難うの言葉なの」と言われたこの一言に暫し考えました。この言葉を折りに感謝の気持ち「ありがとう」をその日から声を出して伝えました。意思が通じ合えると心が爽やかになります。

さて、弱った体力回復のためリハビリ専門病院へ転院する前日の夜、普段夢など見ないのに、この夜に限って見た夢の中の私は健康体でどこかの劇場から退出しようと立ち上がっ

た途端に夢を見ていたのでしょう、転倒してしまい腕で上体を起こした途端にまた転倒、眉毛の端を2度強打したため裂傷を覆い、転院の朝に数針縫合し、ガーゼとテープで固定して転院先の天草病院に到着しました。リハビリは、転院したその日からあり、初めての体験ではあるが驚くことばかり。スタッフの多さ、礼儀正しさ、患者に対する情報は共有され、次のリハビリで支障が無い仕組みは見事です。「よろしくお願いします」の挨拶から始まり、指示に従い姿勢を変えると、その都度「ありがとうございます」の一言があり、様子を聞きながら丁寧に進められていき、最後は各人の部屋まで付き添ってきて終了となります。私はあと数日で82歳になりますので、この年齢で失った筋力が戻るとは信じられず、肺炎の治療中は寝たきりを覚悟し二人の息子に今後を託す話もしました。その後、当院での3ヶ月に及ぶリハビリの結果、杖を頼りに休憩を取りながら500m程歩くことも、階段の上り下りも出来る様になりました。この天草病院では諸々の障害を克服するために入院してくる患者に医師、看護師、介護士、リハビリスタッフが常に寄り添って適切なサポートを行い、リハビリを安心して任せられるのは大変心強いことです。退院が近づいた患者には、退院後の安全のために細かいアドバイスは大変参考になります。私も近々退院しますが諸々のアドバイスのお陰で不安が薄れ期待が大きくなり、桜を愛でたり、猛暑には大好きな麺類を堪能したりと四季折々を楽しめるのではないかと思います。只今、リハビリに励んでいる患者の皆様、スタッフの言葉を信じて頑張ってください。必ず回復して笑顔で退院できます。

最後に天草病院の医師をはじめ、全ての皆様、大変お世話になりました。感謝の気持ちと名残惜しい気持ちを込めて心から御礼申し

上げます。本当にありがとうございます。
*患者様は歩行可能な状態に回復し、令和6年12月、ご自宅に退院されています。

(投稿日 令和6年12月5日)

「チームワンに感謝をこめて」

杉戸町 若林 千代子

毎月1回ご近所の方5人で食事会をしており12月18日はその日でした。レストランの入口で声をかけられ、一瞬よそ見をして石段につまずいて転んでしまいました。お友達が一段でも上に腰をかけるよう抱えてくださいましたが痛くて動くことができませんでした。レストランの方が救急車を呼んでくださり秀和総合病院に入院することができました。あっ！やってしまった。右大腿骨頸部骨折。翌日、手術を受けました。そしてお正月明けの1月6日天草病院に転院してリハビリに励むことになりました。思いのほか外傷の治りが思わしくなくアイスノンで冷やしながらの夜でしたが、皆さんに気遣いして頂きながらのリハビリでした。遠回りは決して損ではないと療法士さんの言葉を信じて頑張りました。天草病院はまさにチームワン。

いろんな患者さんのいる中で、単純な希望「一人で家事をして草花も育てお友達と集うことが待っている！」と切り替えて涙するのをやめました。入浴に携わってくださる方の優しさと明るさに感謝の涙、食事は血・肉になるため太りませんよと栄養士さん。そんな毎日を過ごすうちに退院という言葉が耳に入るようになりました。リハビリ室から砂嵐の吹く外の様子を見た翌日はバレンタインデーでした。療法士さんが「今日は外へ出てみましょう」とまさかと思いましたが、歩行器と杖で入院してから初めての空気。「先生バレンタイン

デーなのにチョコレートあげることも出来ないでごめんね」「いいですよ、そんなこと。若林さんが初めて外に出られた日を頂くから」何と温かい言葉。春はまだ遠いのに陽ざしが暖かく手にあたっているのが嬉しかったです。天草病院はそんな暖かいチームワンの病院なのです。

足しげく通ってくれた娘たち。退院を待っていてくれる友達。入院中の女子会を暖かく見守ってくださった看護師さん。ありがとうございました。歩行器のリハビリに膝を意識して姿勢を正して歩く様に“ヒザ・ヒザ・ヒザ”と私の歩調に合わせて後からついてきてくださった療法士の励ましの言葉を頭に入れて退院の日を迎えることにします。先生はじめ皆様ありがとうございました。

*患者様は杖歩行可能な状態に回復し、令和7年4月、ご自宅に退院されています。

(投稿日 令和7年2月26日)

感謝の声 (投書箱より)

1ヶ月とちょっと入院しました。看護師さんたちの細やかな気遣いと笑顔に入院生活は何の不安もなく過ごすことが出来ました。また、リハビリでは各担当者に本当にお世話になりました。PT・OTでは今までの生活の見直しや不安を抱えていたことを相談することが出来、STでは私のわがままでたくさん宿題を出して頂き、どの担当者も出来ないことで落ち込ませないように気を遣ってくださったこと本当に感謝しています。全てのリハビリ苦しいことなく楽しく出来ました。頭も身体も良くなりました。これから家に戻り社会復帰しますがここで教わったことを糧にして、ちゃんと生きて行こうと思います。天草病院に入院できて本当に良かったです。ありがとうございました。(C病棟 入院患者様より)

AIを用いた運動解析によるリハビリの効果検証

リハビリ事業推進部 部長 古澤 浩生

昨今、メディアをはじめとする様々な場面でAI（人工知能）という言葉が取り上げられ、多くの産業でAIを活用した技術開発が進められています。当院では、研究活動を積極的に推進し、医療水準の向上を図るとともに、学問的根拠に基づくリハビリテーションの提供を方針として掲げています。

現在特に力を入れているのが、療法士によるリハビリ介入時の前後での「対象者の

動き」をAI技術で解析することです。これは埼玉県立大学と共同で行っており、介入前後の変化を数値することで、客観的な効果を検証しています。この解析を元に2024年度は多くの療法士が学会発表を行いました。下記の表はその一覧となります。今後とも、検証データを蓄積し、より効果的なリハビリテーションの提供に貢献することを目指していきます。

| 学会名 | 開催日 | 発表者(筆頭演者) |
|--|------------|-----------|
| ISEK2024 | 2024/6/26 | 伊藤実央 |
| 第33回埼玉県作業療法士学会 | 2024/7/7 | 高橋啓吾 |
| International Bobath Instructors Conference 2024 | 2024/8/23 | 古澤浩生 |
| 第23回日本神経理学療法学会 | 2024/9/28 | 古澤浩生 |
| 第23回日本神経理学療法学会 | 2024/9/28 | 本橋直樹 |
| 第23回日本神経理学療法学会 | 2024/9/28 | 橋爪麻衣子 |
| 第23回日本神経理学療法学会 | 2024/9/28 | 岩瀬美紀子 |
| 第23回日本神経理学療法学会 | 2024/9/28 | 神田美月 |
| 第23回日本神経理学療法学会 | 2024/9/28 | 関根陽平 |
| 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会 | 2024/10/5 | 前田亜莉沙 |
| 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会 | 2024/10/5 | 畔上ゆうか |
| 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会 | 2024/10/5 | 豊島蒼 |
| Neuroscience2024 | 2024/10/8 | 伊藤実央 |
| 第29回日本基礎理学療法学会 | 2024/10/13 | 伊藤実央 |
| 第58回日本作業療法士学会 | 2024/11/9 | 武田幸治 |
| 第58回日本作業療法士学会 | 2024/11/9 | 高橋啓吾 |
| 第11回日本地域理学療法学会学術大会 | 2024/11/16 | 阿部高家 |
| 第11回日本地域理学療法学会学術大会 | 2024/11/16 | 岡田健太郎 |
| 第11回日本地域理学療法学会学術大会 | 2024/11/16 | 藤沢麻起子 |
| 第32回埼玉県理学療法学会 | 2025/1/19 | 荒井真幸 |
| 第32回埼玉県理学療法学会 | 2025/1/19 | 藤枝早央理 |
| 第32回埼玉県理学療法学会 | 2025/1/19 | 加藤大暉 |
| 第32回埼玉県理学療法学会 | 2025/1/19 | 伊藤実央 |
| 日本物理療法合同学術大会2024 | 2025/2/2 | 伊藤実央 |

地域を多職種一体で支える通所リハビリ施設を目指して

介護老人保健施設シルバーケア敬愛 通所部長 若月 潤

当施設シルバーケア敬愛の通所リハビリは平成5年に開設され、介護職員2名、相談員1名でスタートしました。利用者様の笑顔と共に歩んできた32年間で、現在は介護職員36名、看護師2名、ドライバー15名の体制となり、一日平均100名の利用者様にお越しいただいています。

サービス提供時間は、要介護の方で6～7時間の長時間のサービス利用となり、要支援の方は6～7時間または2～3時間の選択が可能です。送迎エリアは、越谷・春日部・松伏と広範囲に渡ります。施設の生活空間は、利用者様の年齢や身体状況に合わせて3つのホールをご用意しています。特に40歳以上64歳未満の第2号保険者(若年グループ)の方々のホールは、リハビリ意欲が強く、グループ内の仲間同士で意識を高め合い社会復帰に向け、リハビリだけでなく私生活や日常生活の情報交換の場にもなっています。

リハビリは、リハビリテーション天草病院で経験を積んだ理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が21名在籍し、すべての利用日で個別リハビリを実施しています(要支援者を除く)。今年度から算定している「リハビリマネジメント加算(ハ)」は、リハビリ・栄養・口腔が一体となり利用者様のアセスメントを行います。リハビリを受けていただく上で健康状態の管理は必要不可欠です。管理栄養士が栄養状態を把握し「栄養管理」、歯科衛生士、言語聴覚士、看護師が口腔機能を評価し「口腔管理」を行います。これらを踏まえて3ヶ

月に1度、利用者様、医師、療法士、介護士でリハビリ会議を実施します。利用者様一人ひとりを多職種の連携により支える仕組みとなっています。

個別リハビリ以外の活動は、利用者様の選択制となっています。立位・歩行トレーニング、器具トレーニングから始まり、人気のカラオケ、専門の講師が指導するフラワーアレンジメント、書道教室などがあります。今年度からは、より実生活に繋がるような日常生活トレーニングを介護職員が対応します。また、自立支援を目的としたショッピングモールでの買い物や食事、近隣の公園を散策する野外活動、テラリウム制作も人気の活動です。余暇時間には自主リハビリをされる方、お仲間と囲碁や将棋を指される方、麻雀、パソコンゲーム、読書を楽しまれる方など、「自分のやりたい活動を自分のペースで」取り組まれています。入浴は座位を保ったまま入れる機械浴(チェア浴)と大浴槽のある一般浴があり、体の状態に合わせて対応します。昼食の提供は、管理栄養士が一人ひとりの嚥下の状態や食事制限に合わせた対応を行っています。また、季節ごとの行事食も利用者様の楽しみのひとつとなっています。

私たち通所リハビリスタッフは、今後も利用者様に満足いただけるサービスを提供し、「ずっと家で過ごしたい」を「多職種一体で支える」をコンセプトに、これからも地域の皆様にも愛され、選んでいただける施設を目指して尽力していく所存です。

編 集 手 帳

＊日本は「低医療費政策国」でありながら、極めて「良質な医療」を全国民平等に提供していることで世界中に知れわたっています。これはひとえに医療従事者の様々な犠牲の上に成り立っているのです。今、医療や介護従事者の給与の低さが社会問題化していることは皆様ご承知のとおりです。

＊この様な状況下で、医療・介護に関しては

「素人集団」でありながら国政を左右する政党への仲間入りした「日本維新の会」が医療費の削減を「目玉政策」として強く主張しています。「国民医療費を年間4兆円削減し、現役世代1人当たりの社会保険料を6万円下げる」というものです。

＊これは、誰もが安心して医療を受けられる社会に対する真っ向からの反対であり「医療崩壊」をもたらす「国民への反逆」です。

(相談役 天草 大陸)

当法人の公式ソーシャルメディア

患者さんへの情報発信として、当院の公式 YouTube チャンネルを開設しています。右のQRコードからアクセスできますので、是非ご視聴ください。

- 認知症専門医が解説 認知症のリハビリテーション
- ～回復期～ リハビリ治療の達人たち
- 入院当日の流れ 一回復期リハビリテーション
- 口から食べるリハビリ最前線 摂食嚥下リハビリ－VE/VF検査－
- 脳卒中から仕事に戻るまで ー高次脳機能障害からの復活ー 他



当法人施設が取得する第三者評価認証

患者さんが病院を評価するには、その病院自身の「自己紹介」も参考になりますが、第三者の評価も重要です。当院では「病院機能評価機構（主たる機能と高度・専門機能）」と「ISO」の認証を取得しています。なお、併設の老人保健施設でも「ISO」の認定を受けています。



日本医療機能評価機構



日本医療機能評価機構



表紙のことば

私達は、寒い冬の間みんなで励まし合いながら病院の中で入院生活を共にしてきました。少しずつ気温も高くなり、春の訪れを感じ始めてきたところで、「何か皆で春をイメージする物をレクリエーションも兼ねて作ってみませんか？」と職員の方に声をかけて頂きました。そこで意見を出し合い、病前に春のディズニールランドでイースター（復活祭）というイベントがあったことを思い出し提案しました。卵の殻にそれぞれが好きな色を塗り、うさぎを切り貼りし、春の訪れにふさわしい生命誕生と家族の繁栄を願う意味も込めて、今回の作品を作りました。

B病棟の患者様 T. T様 T. S様 M. M様 他数名